

太陽光発電ファンドを創設 18年1月末まで出資者募る

ALLアセットパートナーズ

豊島 康夫 社長



中区中町7
-41に本社を
構え、不動産
投資などを手
掛ける。市民
出資型の太陽

光発電ファンド事業を始め、11月に「ソライチ太陽光発電ファンド1号」を創設し、2018年1月19日まで出資者を募っている。出資は1口50万円、計6400万円を集める。

投資先は東広島市の施設。発電容量は318^{キロワット}。運用期間は38年1月末までで、施設をALLアセットパートナーズに賃貸し、出資者は賃料を原資とした分配金を年1回、20年間受け取る。発電量が予測を下回

っても一定額の賃料が支払われ、計画を上回った場合は、上回った30%分を上乗せする。分配目標は20年間平均8・5%で、安定運用を目指す。中途解約や譲渡は原則できず、太陽光発電の事業リスクや、営業者や運営者の信用リスクなどがある。

「太陽光発電の投資は、土地や多額の資金が必要なため、個人レベルでは誰もができるわけではない。ファンドの仕組みを使って、少額な資金での投資を可能としました」

1958年4月4日生まれ、北海道出身。82年に大和証券に入り、グループ会社の執行役員を務めた。その後、リテラ・クレア証券の代表取締役専務を経て、15年10月に金融、法律、不動産、太陽光発電などの専門家6人と共に設立。

「培ったノウハウ、ネットワークを最大限活用し、プロフェッショナル集団として変化するマーケットに対応したサービスを提供したい」